

水性ハイボン 20K

非危険物水性変性エポキシ樹脂下塗り塗料

□ 特 長

- ・塗装作業性が良好です。
- ・4時間以上の乾燥時間で上塗り塗装が可能な速乾タイプです。(23℃)
- ・有害重金属の鉛・クロムを配合していません。
- ・長期防食性を発揮します。
- ・水性ですので、人体や環境にやさしく、安心して塗装できます。

□ 塗 料 性 状

		塗料液	硬化剤
色		白色	乳白色
密度(g/cm ³)(23℃)		1.38 (グレー混合塗料)	1.57 (グレー塗料液) 1.04 (硬化剤)
光 沢		沢	-
引 火 点		-	-
発 火 点		201 (参考値)	278 (参考値)
消防法 表 示	化 学 名	水溶性合成樹脂塗料	水溶性合成樹脂塗料
	危険物区分	非危険物	非危険物
	危険物等級	- (-)	- (-)
有 機 溶 剤 区 分		なし	なし
毒 劇 物 表 示		-	-
有 害 物 表 示		-	エポキシ樹脂
国 連/指 針 番 号		-	-
環 境 性 能	ケルパリス	配合せず	配合せず
	キシレン	配合せず	配合せず
	スレン(モノマー)	配合せず	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず	配合せず
	フェノール	配合せず	配合せず
T V O C		1.9%	

- ・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。
- ・加熱残分(%)：55 (グレー混合塗料) 69 (グレー塗料液) 29 (硬化剤)

□ 塗 装 基 準 下 地 調 整 :

- ・ブラスト処理(ISO Sa2 1/2以上)後、直接塗装することもできます。
- ・被塗面に付着したダスト・海塩粒子・水分・油そのほかの異質物を清掃し、清浄ケレンしてください。
- ・下塗りの損傷箇所は必ず下塗りでタッチアップしてください。
- ・塗り替え時の素地調整は発錆部・劣化部は2種ケレンを、活膜部はサンドペーパー等で表面調整を行ってください。
- ・2液形のため、「塗料液：硬化剤 = 65：35 (重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。
- ・20kgセット(塗料液：硬化剤=13kg：7kg)
- ・6時間(23℃)
- ・水道水

混 合 :
荷 姿 :
ポットライフ :
希 釈 剤 :
塗 装 方 法 :

塗 装 方 法	はけ、ローラー塗り	エアレススプレー塗り
希 釈 率	0~5%	0~5%
使 用 量	0.20kg/m ² /回	0.23kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	50μm	50μm
膜厚(ウェット)	125μm	125μm

- ・上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
- ・上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。
- ・一次圧0.4~0.5MPa 二次圧12MPa以上 チップNo.163-617、619など

エアレス条件 : 乾 燥 時 間 :

	5	23	30
指 触 乾 燥	2時間	1時間	30分
半 硬 化 乾 燥	4時間	3時間	2時間
塗 り 重 ね 乾 燥	16時間以上10日以内	4時間以上10日以内	3時間以上7日以内

- ・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

□ 注 意 事 項

- ・被塗物が結露などで濡れている場合は塗装を避けるか、十分水分を除去してから塗装を実施してください。
 - ・ご使用前に充分かくはんしてください。
 - ・開缶後は皮張りがしやすいため、表面にうすく希釈剤を張り、ふたをしておくと、皮張りを遅くすることができます。
 - ・水による希釈割合は、必ず5%以下としてください。希釈しすぎると割れたり膨れやすくなります。
 - ・塗装する時、まず希釈なしで塗装して下さい。粘度が高く、塗装しにくい時は、希釈剤を用いて希釈して下さい。
 - ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・塗装終了後、4時間以内に気温が5℃以下に下がる事が想定される場合、塗装を避けてください。
 - ・この塗料は増粘しにくいいため、可使時間の管理を時刻で行ってください。可使時間を過ぎた塗料は使用しないでください。
 - ・外部の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
 - ・飛散した時は、速やかに希釈剤などを使って拭き取ってください。
 - ・水性で2液硬化反応形のため、一般の刷毛は固まったり、ダマになりやすいので、できるだけ水性塗料反応硬化用刷毛（例えば、大塚刷毛製 水星 など）をご使用下さい。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・乾燥条件によっては塗膜に粘着を感じられることがあります時間がととに粘着感はありません。
 - ・一度に厚塗りすると、乾燥不良となり、種々の問題を起しますので、適正な膜厚で塗装してください。
 - ・反応硬化タイプですので、必ず、その日にハケ等の洗浄を終えてください。
 - ・洗い溶剤は基本的に水道水ですが、落ちにくいときは、温流水・せっけんで洗い、なおも落ちにくいときは、水気をきった後にラッカーシンナーをご使用ください。
 - ・新設亜鉛面・コンクリート・没水部への適用は避けてください。
 - ・中・上塗りには、水性塗料をご使用ください。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート（SDS）をご参照ください。